

2015年4月27日

ご寄付いただいたみなさま

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

ご寄付の御礼およびご報告

拝啓 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、ソーシャル・サーカスの活動のため、多数のジャグリング用品のご寄付を頂き、心よりお礼申し上げます。頂いたジャグリング道具は、首都ウランバートル市でソーシャル・サーカスの授業に参加する子どもたちの元に届き、日々の練習で大切に使用させていただいております。

これまでは道具の数も種類も十分に揃っていなかったため、今回、みなさまからたくさんのジャグリング用品をお寄せ頂き、子どもたちは大変喜んでおります。モンゴルでは、入手することができないジャグリング道具や道具の質の良さにも、子どもたちは目を輝かせています。そして何よりも、子どもたちの取り組みを日本から応援して下さるみなさまの温かいお気持ちを心から喜んでおります。

ソーシャル・サーカスには、家庭の貧困・虐待など困難な状況にある子どもたちが参加しています。それぞれの厳しい環境から、極端に体力や自信がない子ども、誰に対しても心を閉ざしている子どもなど様々です。当会のソーシャル・サーカスの活動では、週2回サーカスの授業を実施し、そのような子どもたちの運動能力の強化を支援するだけでなく、授業を通して、協調性やコミュニケーションの大切さを学び、問題解決能力を身につけていくことを支援しています。実際に、ソーシャル・サーカスの授業を通して子どもたちは、職員と信頼関係を築いたり、ほかの子どもたちとの仲間意識が生まれたり、自信を取り戻したりといった変化が現れています。そして子どもたちの復学や家族再統合支援など更なる支援につながっています。

次項に、子どもたちのメッセージを貼付いたしております。生き生きとした子どもたちの笑顔をご覧ください。

今後ともあたたかいご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

① テルゲルさん (11 歳)

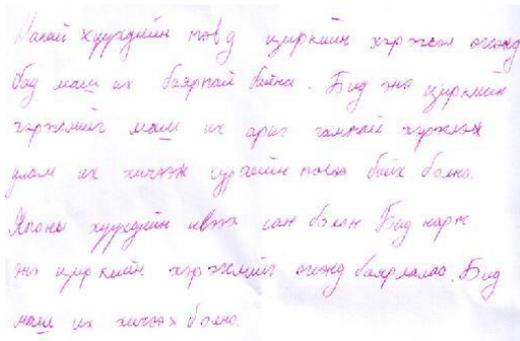
テルゲルといいます。11 歳です。ソーシャル・サーカスの授業のために、ジャグリング道具を送っていただき、とても嬉しいです。素敵なリングやその他いろいろな種類のジャグリング道具を送ってくださり、本当にありがとうございました。ジャグリングの練習がもっと楽しくなりました。ありがとうございました、という気持ちを心からお伝えしたいです。



② テムージンさん (11 歳)

私の名前はテムージンです。第 50 番学校の 7 年生です。私は、ソーシャル・サーカスの授業に参加することができて、とても嬉しいです。この授業に参加する前は、いつも退屈していて、イライラしていました。でも今は幸せです。多くの人々から支えられているのを感じます。ソーシャル・サーカスでたくさんのことを学び、友達もたくさんできました。大きくなったら、サーカス団員になりたいです。本当にありがとうございました。





③

ジャグリング道具のご支援を頂き、とても嬉しいです。送ってくださった道具は、授業で大切に使用させていただきます。みなさまからいただいた道具のおかげで、もっといろいろな技を学ぶことができます。本当にありがとうございました！これからも頑張ります！

④

素敵なジャグリング道具をたくさん送って頂き、ありがとうございました。どれも練習のために必要だったものです。それをいただくことができ、本当に嬉しいです。一生懸命練習します。ありがとうございました。



⑤

私はディアボロを学びたいとずっと思っていました。ディアボロを送って頂き、とてもうれしいです。これからディアボロに挑戦するのが楽しみです。本当にありがとうございました。



⑥

私の名前はテルモンです。みなさんからの贈り物にとっても元気をいただきました。いただいたジャグリング道具はどれも魅力的なものばかりです。特に、ディアボロを学びたいと思っています。ディアボロは興味深く、おもしろいです。



セーブ・ザ・チルドレン子どもセンターの子どもたち。
ご寄付いただいたジャグリングで楽しく練習に励んでいます。



子どもたちのアイデアで、ご寄付いただいたジャグリング道具を並べてみました。



子どもたちは様々なジャグリング道具を手に取り、わくわくしています。



特別養護施設の子どもたちも、ご寄付頂いたジャグリング道具を手にして、ジャグリングを楽しんでいます。



配布時の様子です。サーカスを教える先生方が、どのジャグリング道具をどの施設にいくつ設置するか話し合い、記録しています。



サーカスを教える先生方